

11 交通



- 【沿革】**
- 昭和60年 4月 1日 横浜市立大綱養護学校開校
 - 平成 7年 4月 1日 横浜市立北綱島養護学校開校
 - 平成12年 4月 1日 横浜市立上菅田養護学校高等部 北綱島分教室開級
 - 平成19年 4月 1日 横浜市立北綱島特別支援学校に校名変更
 - 平成19年 5月 1日 横浜市立北綱島特別支援学校 サルビア分教室開級
 - 平成23年 4月 1日 横浜市立上菅田特別支援学校高等部北綱島分教室・サルビア分教室自校化
 - 平成31年 4月 1日 横浜市立特別支援学校再編整備計画に伴い、校名変更
 横浜市立上菅田特別支援学校北綱島分校及び
 横浜市立上菅田特別支援学校北綱島分校サルビア分教室となる
 - 令和 4年 4月 1日 条例改正に伴い、校名変更
 横浜市立北綱島特別支援学校及び
 横浜市立北綱島特別支援学校サルビア分教室となる



令和6年度

学校要覧

えがお



小低 遠足「夢見ヶ崎動物公園」



小高 図工「寒天遊び」



中 総合「きのこ栽培」



高 美術「点描画」

横浜市立北綱島特別支援学校

12772 3つの学校
小・中・高

2 1 3 4
港北・鶴見・綱島・神奈川

1 学校名・所在地

横浜市立北綱島特別支援学校

〒223-0053

神奈川県横浜市港北区綱島西5丁目14番54号

電話 045(545)0126 FAX 045(545)0146

HPアドレス <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/sch/ss/kitatsunashima/>

横浜市立北綱島特別支援学校サルビア分教室

〒230-0012

神奈川県横浜市鶴見区下末吉3丁目6番1号

恵 済生会横浜市東部病院内
財 団

2 学校教育目標

本校では一人ひとりの子どもの個性や特性、障害の状態等を考慮し、個々のニーズに応じた教育課程の編成や多様な指導形態など様々な工夫と配慮を行いながら、「主体的に生きる力」を培う教育を進めています。

◎ 児童生徒一人ひとりの個に応じた教育を行い、共生社会の一員として、いきいき楽しく生活できる力を育みます。

- ・子どもの主体的な学びを大切にし、自己選択・自己決定できる力を養います。(知)
- ・子どもの自然や人とふれあう経験を大切にし、豊かな感性や自己表現力を養います。(徳)
- ・子どもの健康・安全を大切にし、自らが健康で安全に過ごすために生活力を養います。(体)
- ・子どもの社会での共生を大切にし、周りの人々と関わるコミュニケーション力を養います。(公・開)

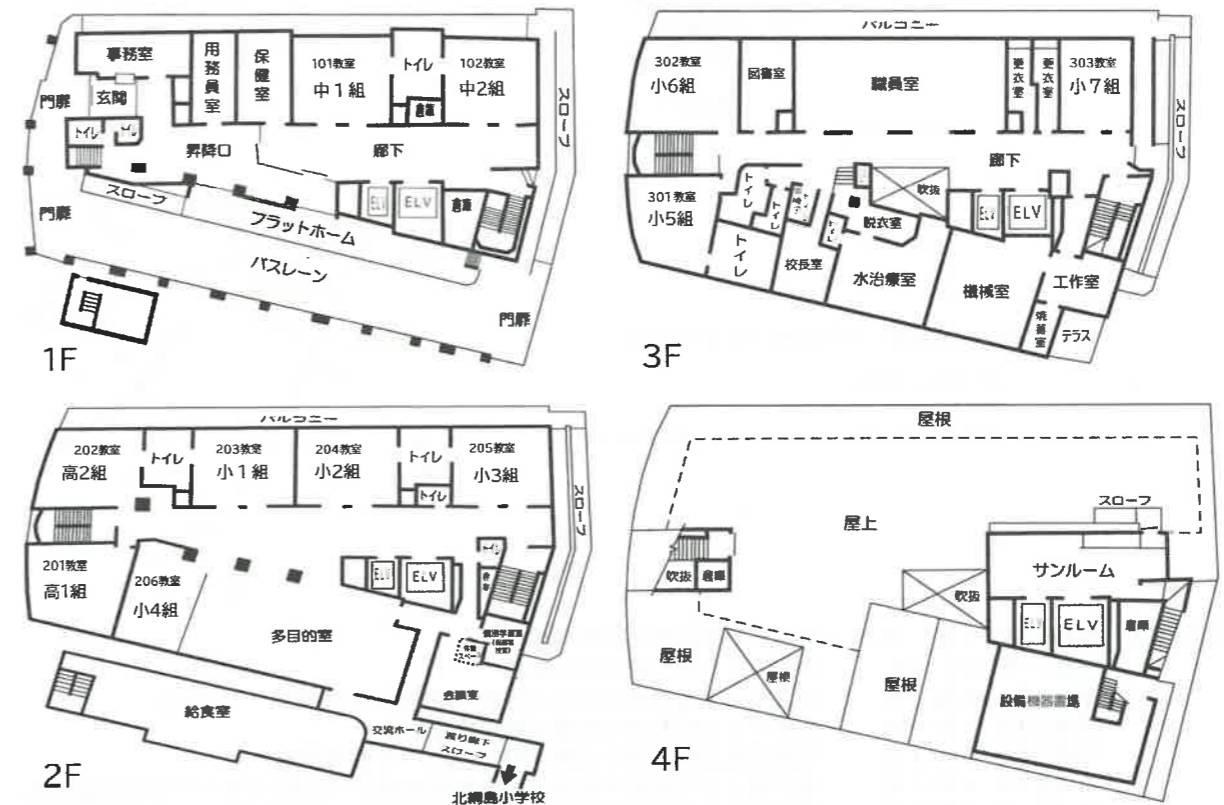
8 医療的ケアの実施

学校では、文部科学省が認めた行為の中で、学校生活を送る上で必要な医療的ケアを行います。その内容は、たんの吸引、経管栄養、導尿、酸素療法等、児童生徒の状態に応じて、実施の可否や具体的実施内容等について検討し、看護師と教員との協働により実施します。

9 スクールバスコース **中型バス**

Aコース(オレンジ)	→都筑区南部
Bコース(イエロー)	→港北区南部・神奈川区一部・鶴見区一部
Cコース(グリーン)	→鶴見区・港北区・神奈川区一部
Dコース(ブルー)	→鶴見区北部
Eコース(ピンク)	→都筑区北部

10 校舎平面図 (校地及び校舎 校地面積 1,146㎡ 延床面積 2,908㎡)



7 本校の特色

(1) 訪問教育

本校は、重度の重複障害のある児童生徒が多く在籍しています。健康上の理由等で通学できない児童生徒のために、教員が家庭に訪問して学習を行う訪問教育を行っています。

(2) 交流教育

本校の児童生徒にとって、いろいろな人との関わりや、多くの人が参加する場面の経験はとても貴重な機会です。その中でも交流教育は、他校や地域の人々と関わる機会を継続的に設定することで社会的経験を積み重ねることができると、本校で重視している教育です。

交流相手にとっても心に残る経験となるよう配慮しながら、下記のような交流活動を行っています。

- ①併設されている北網島小学校との交流や啓発学習
- ②副学籍による交流(居住地域小・中学校との交流)
- ③近隣校との交流
- ④地域交流(トマト狩り、買い物、地域の諸団体との交流等)

(3) 給食指導

本校の給食は、「健康の保持増進」、「摂食機能の改善と向上」、「食事動作の獲得」、「食事に対する意欲的な態度の育成」、「人間関係の育成」の五つの目標をもとに、一人ひとりに応じた個人目標を設定し、指導にあたっています。

重度重複障害児の「食べる」という行為は「生きる」ことに直接つながります。本校の場合は、その日の健康状態や心理状態が把握でき、一日の学校生活の中でも最も深く長く児童生徒と関わる時間であり、毎日継続した指導ができる重要な学習活動と考えます。

(4) 進路・地域支援活動

本校では、入学時から卒業後までを見据え、地域での生活を充実させるための地域支援、卒業後の生活に向けての進路指導を継続して行っています。

障害のある児童生徒が、地域の中で共に生きていくためには、社会資源を有効に活用し、連携を図っていくことが大切です。本校の児童生徒が、地域での生活を充実できるよう、医療・福祉・行政など関係機関との連携を積極的に行っています。また卒業後の生活を具体的に考えていくために、保護者向けの進路説明会や施設見学、中・高等部においては進路実習を実施しています。

地域において、特別支援学校はその専門的な知識や技能を生かし、特別支援教育にかかわるセンター的機能を担っています。本校も、地域の小・中学校へのネットワークの形成を行い、相談機能の充実を図っています。また所在する地域向けの研修会などを通し、理解啓発事業を推進し、学校ボランティア等、障害児に関するボランティアの育成拠点としても広く社会へ貢献できる活動を目指しています。

3 教育課程

(1) 各教科

第Ⅰ類型(小学校・中学校・高等部に準ずる、又は下学部・下学年対応の教育課程)

…当該学年の各教科の目標及び内容に準じた学習を行います。または、当該学年の下学年や下学部(中学校においては小学校など)の各教科の目標・内容の全部または一部を取り入れた学習を行います。

→国語・社会・算数(数学)・理科・生活・音楽・図画工作(美術)・家庭(技術・家庭)・体育(保健体育)・外国語・芸術・地理歴史公民・情報

第Ⅱ類型(知的障害を併せ有する児童生徒の教育課程)

…知的障害のある児童生徒の学習上の特性を踏まえ、育成を目指す資質・能力が育まれるように学習を行います。必要に応じて各教科等を合わせた指導を行います。

→教科別の指導 音楽・図画工作(美術)・体育(保健体育)・生活・社会・理科・職業家庭
教科等を合わせた指導 朝の会・帰りの会・朝の準備・給食準備・帰りの準備・課題別

(2) 本校における道徳教育

本校での学習活動は、児童生徒の実態を把握し作成された「個別的教育支援計画」の内容に沿って、学校の教育活動全体を通して指導するよう取り組まれています。道徳性の育成に関しては、学校の教育活動全体を通して行い、更に、「道徳の時間(道徳科)」を設定して指導しています。児童生徒一人ひとりの特質に応じて発達段階を考慮し、適切な指導に取り組んでいます。

(3) 総合的な学習(探究)の時間

総合的な学習(探究)の時間は、各教科等の学習で学んだことを総合的に関連付けながら、よりよく課題を解決しようとする力を育むとともに、幅広い経験を重ねながら、より自分らしく生きていくための資質・能力を育みます。

(4) 特別活動とその内容

特別活動は、学級活動、学校行事、交流活動、全校集会で構成し、その活動や学習を通して、児童生徒の自主的活動や行動の力を育て互いに協力し合う実践的態度を養い、より良い生活習慣と人間関係を築くことによって生活自立、ひいては社会的自立への発展を目指します。

- ①学級活動… 集団生活や活動を通して、日常生活に関する自発的活動や行動を養い対人交流を深めて集団における役割や分担などの習得を図ります。
- ②学校行事… 学校行事の教育的意味を十分に考慮して児童生徒の健康、安全と障害の状態等に応じた方法と情緒的な安定を図るための内容を調和的に配慮して計画します。
- ③交流活動… 学校内外での対人や場の社会的経験を広め、社会性の育成に努めるとともに、好ましい対人関係を育て「いつ・どこでも・誰とでも」対応ができるように努めます。そのため隣接校、居住している地域の小・中学校及び地域社会との交流を積極的に進めます。
- ④全校集会… 身近な人々、社会や生活事象への興味・関心を育て、人や物とかかわる喜びや遊びの楽しさを味わい、集団活動への意欲や生活環境への適応力を高めます。

(5) 自立活動

個々の児童が自立を目指し、障害にも基づく種々の困難を主体的に改善・克服しようとする取組を促す系統的・段階的に進め、調和のとれた育成を目指します。各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動と密接な関連を保ち、適切な指導計画の下で行います。

(6) 指導形態と方法

重度重複障害児の特性を考慮して、指導クラス(組)編成と複数担任制を基本とした指導組織で構成します。通学指導児の日常生活活動は指導クラスを基本としますが、学習活動は学習領域別オープンシステム指導を基本にし、各学習5領域の学習内容によって能力、特性などによる集団または個別による学習を行います。児童生徒の実態によっては、文字や数量などを学習する集団もあります。

訪問指導は、家庭訪問による個人指導を基本としますが、指導クラスの複数担任制の特性を活かす指導を考慮します。また、児童生徒の障害状態によっては、通学指導と訪問指導の併用も行います。

4 日課表

小学部・中学部 I 類型 日課表

	月	火	水	木	金	短縮11:30下校日
9:30	登校					登校
9:35	日常生活の指導・朝の会					日常生活の指導 朝の会
10:00	1校時					10:15 1校時
10:40	2校時					10:55 日常生活の指導 帰りの会
11:20	3校時					11:30~下校
12:00	給食					○月・火・木・金曜日 15:00下校 ○水曜日は13:45下校 ○授業の時間は、体調に合わせながら柔軟に運用
13:00	昼休み					
13:15	4校時	日常生活の指導 帰りの会		4校時		
13:55	5校時			5校時		
14:35	日常生活の指導 帰りの会			日常生活の指導 帰りの会		
15:00	下校					下校

高等部 I 類型 日課表

	月	火	水	木	金	短縮11:30下校日
9:30	登校					登校
9:50	朝のHR					朝のHR
10:00	1校時					1校時
10:40	2校時					帰りのHR
11:20	3校時					11:30 下校
12:00	給食					○月・火・木・金曜日 15:00下校 ○水曜日は13:45下校 ○授業の時間は、体調に合わせながら柔軟に運用
12:40	昼休み					
12:50	自立活動					
13:15	4校時	帰りのHR		4校時		
13:55	休憩			休憩		
14:00	5校時			5校時		
14:40	帰りのHR			帰りのHR		
15:00	下校					下校

小学部・中学部・高等部 II 類型 日課表

	月	火	水	木	金	短縮11:30下校日
9:30	登校					登校
9:35	朝の準備(日常生活の指導) 小中:朝の会 高:朝のHR					日常生活の指導 小中:朝の会 高:朝のHR
10:40	午前の学習①					午前の学習①
11:15	午前の学習②					11:30~下校
11:50	給食準備(日常生活の指導)					○月・火・木・金曜日 15:00下校 ○水曜日は13:45下校 ○授業の時間は、体調に合わせながら柔軟に運用
12:00	給食					
13:00	昼休み					
13:15	午後の学習①	帰りの準備(日常生活の指導) 小中:帰りの会 高:帰りのHR		午後の学習①		
13:50	休み時間	下校		休み時間		
14:00	午後の学習②			午後の学習②		
14:35	帰りの準備(日常生活の指導) 小中:帰りの会 高:帰りのHR			帰りの準備(日常生活の指導) 小中:帰りの会 高:帰りのHR		
15:00	下校					下校

5 教職員数

令和6年5月7日現在

	校長	副校長	教諭(常勤)	教諭(非常勤)	養護教諭	看護師(嘱託・非常勤)	学校司書(非常勤)	国際理解教育(非常勤)	AET(非常勤)	ICT支援員(非常勤)	事務職員	栄養教諭	技能職員(用務)	技能職員(調理)	職員室アシスタント	事務補助	学校介助員	学校医					薬剤師	計	総計	
																		内科	眼科	耳鼻科	歯科	臨床指導医				
男	1	0	25	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	1	0	31	1	1	1	1	1	0	5	36
女	0	1	44	5	2	9	1	1	1	1	2	1	1	1	1	0	1	71	0	0	0	0	1	1	2	73
計	1	1	69	5	2	9	1	1	1	1	4	1	2	2	1	1	1	102	1	1	1	1	2	1	7	109

6 令和5年度児童生徒数 及び 在住区別人数

令和6年5月7日現在

【本校+サルビア分教室】 ※サルビア分教室の児童生徒数は別表にも記載

学部	小学部							中学部				高等部				性別男女計	総計		
	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3	計				
学年																			
学級数	22							6				5				33			
児童生徒数	通	男	2	5	7	4	1	1	20	2	1	1	4	4	2	2	8	32	69
		女	5	1	9	4	6	3	28	4		2	6	1	1	1	3	37	
	訪	男			1				1		1		1				0	2	4
		女	1						1	1			1				0	2	
	サ	男	1					2	3	1		1	2	1	1	1	3	8	10
女	1							1	1			1				0	2		
学年計	10	6	17	8	9	4	54	9	2	4	15	6	4	4	14	83	83		

【サルビア分教室】

学部	小学部							中学部				高等部				総計			
	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3	計				
学年																			
学級数	本校に含む							本校に含む				本校に含む							
生徒数	男	1	0	0	0	2	0	3	1	0	1	2	1	1	1	3	8		
	女	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	2		
	学年計	2	0	0	0	2	0	4	2	0	1	3	1	1	1	3	10		

【居住区在籍数】

鶴見区	神奈川区	港北区	都筑区	サルビア分教室
26	4	25	18	10